

男子体操競技の演技構成

— ゆかを例として —

岡崎秀人

●要約

本研究は、ゆかの演技を例として、2006年版採点規則が適用された初年度において、国内における現場の選手やコーチが、どのように規則に対応し、試合に臨んでいるかを明らかにし、今後のトレーニングの一助とすることを目的とした。

考察の結果、日本選手が上位を狙うための目安として、A得点は、6.4（難度点3.5、要求グループ2.5、加点0.4）となる演技構成が求められ、B得点は、極力減点を抑え9.4（減点0.6以内）にすることが求められるだろう。また、A、B得点を高めるためには、今以上に体力面の強化が重要となってくる。

●キーワード

男子体操競技

ゆか

演技構成

トップクラス